

ケアプランデータ連携システム 活用促進モデル地域づくり支援事業



「ケアプランデータ連携システム活用促進モデル地域づくり支援事業」とは、厚生労働省が実施している介護サービスのDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の一環として、介護ソフト間でのケアプラン情報のデータ連携を通じて、地域全体の介護の質・効率を高めることを目的とした実証的なモデル事業です。

ポータルサイトはこちら

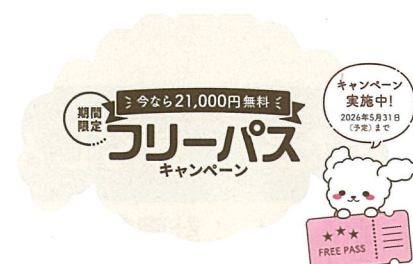


URL:<https://sites.google.com/tadakayo.jp/cpds-toyama-city/top>

ケアプランデータ連携システムのフリーパスキャンペーン！

現在、「フリーパスキャンペーン」を実施中です。

申請日から1年間、ケアプランデータ連携システムを無料でご利用いただけます。「導入コストが気になる」「周りの事業所を誘いたいけれど、きっかけがない」そのようなお声にお応えし、業務改善の第一歩をライセンス料のご負担なく始められるキャンペーンです。



地域普及率25%が突破口になる！

「外がやらないと意味がない」というのは、もう過去の話です。地域で導入率が25%を超えれば、便利さが一気に拡がり、システムの普及が加速します。支援の輪が広がることで、地域ケアは確実に変わります。最初の一步は不安かもしれませんが、サポートがあれば前に進めます。仲間と共に、今こそ地域で声を合わせて、一步を踏み出しましょう。



安心の遠隔サポートサービス！

遠隔操作ツール「TeamViewer（チームビューア）」を活用し、全国各地にいるタダカヨのスタッフが、ケアプランデータ連携システムの導入から操作方法、データの入出力まで一連の流れを丁寧にサポートいたします。目の前のパソコン画面を一緒に見ながら操作を進められるので、「やり方がわからない」「触るのが不安」といった悩みも即座に解決。不安を安心に変える支援体制で、地域でのシステム普及を後押しします。まずはお気軽にご相談ください。



サポートデスク専用ダイヤル
導入の相談・操作の相談、
お気軽にご連絡ください

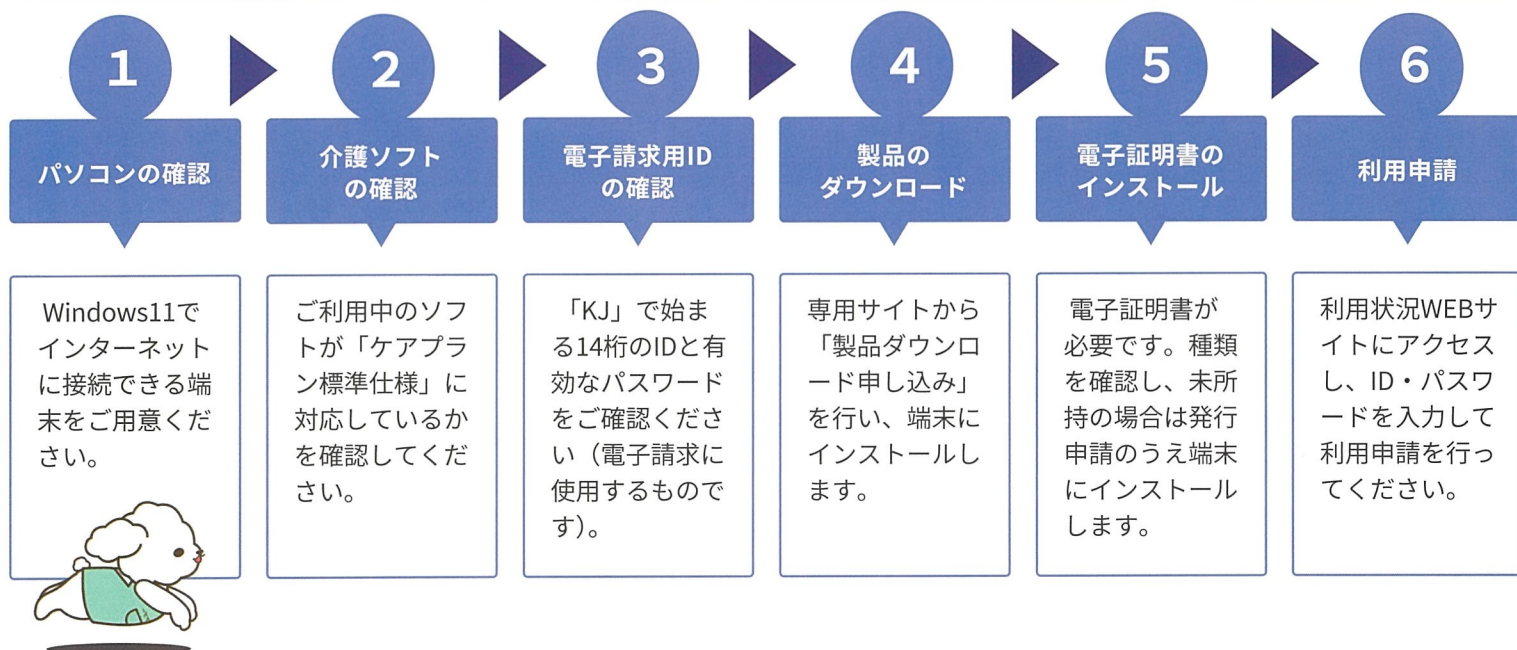
 **050-8894-9502**

平日 9:00~16:00

土日祝日はお休みとさせていただきます



ケアプランデータ連携システムの導入までの流れ



「かんたん・あんしん・さくげん」で、介護現場の業務を効率化！

- ☑ **かんたん**：計画書（第1表・第2表・第3表）や提供票（第6表・第7表）などのCSVファイルをドラッグ＆ドロップするだけで連携完了。郵送やFAXの手間を省き、業務をスマートに。
- ☑ **あんしん**：記載ミスや書類不備が減少し、手戻りが大幅に軽減。介護報酬請求と同様の高いセキュリティ方式を採用しており、安全性も確保。導入から運用まで、**安心のサポート体制**が整っています。
- ☑ **さくげん**：やりとりにかかる時間を約3分の1に削減できる研究結果も。月額1,750円のご負担で、**年間約80万円の業務コスト削減**が見込まれます。費用対効果のシミュレーションも公開中。

伴走支援を受けた自治体様やサービス事業所様の声



「点ではなく“面”で広げる必要性を実感。今だからこそ導入」
法人内の複数事業所で連携して導入できたのは、支援体制と行政の皆様の後押しがあったからこそ。情報連携の真の価値を実感しています。（法人事務局／地域統括責任者）



「“うちには難しい”と思っていたけれど…」
伴走支援のスタッフが来てくれて、一緒に操作して確認してくれたおかげで導入できました。“できた”という自信にもつながりました。（デイサービス 管理責任者）



「説明だけでは動かない。“寄り添い型支援”が鍵でした」
データ連携の重要性は伝えてきましたが、実際に導入が進んだのは、サポーターさんの伴走支援があったからこそ。個別訪問や説明会開催が地域の空気を変えました。（自治体 担当係長）